



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日
東

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所
 コード番号 3656 URL <https://www.klab.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 英克
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-5771-1100
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (<https://www.klab.com/jp/ir/library/>)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	12,511	△33.1	△570	—	195	—	△307	—
2021年12月期第3四半期	18,708	△29.0	△729	—	△850	—	△1,767	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 △373百万円(—%) 2021年12月期第3四半期 △1,683百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	△8.01	—
2021年12月期第3四半期	△45.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	20,458	13,312	64.9
2021年12月期	18,707	12,806	68.4

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 13,283百万円 2021年12月期 12,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

2022年12月期の連結業績予想については、合理的な業績予想の算出が困難であるため、非開示といたします。
 なお、今後の進捗を踏まえ、算定が可能になった場合は速やかに開示する方針です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料] 5 ページ「四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	40,627,200株	2021年12月期	38,631,100株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	641,500株	2021年12月期	641,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	38,338,164株	2021年12月期3Q	38,436,668株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

業績の概要につきましては、当社ウェブサイトに掲載しております、四半期決算説明資料をご確認ください。

<https://www.klab.com/jp/ir/library/presentations/>

○添付資料の目次

四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	3
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	6

四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,816,978	7,076,071
売掛金	2,259,169	1,294,149
有価証券	936,120	—
未収還付法人税等	189,013	—
その他	2,723,081	2,107,433
貸倒引当金	△28,553	△31,692
流動資産合計	9,895,809	10,445,962
固定資産		
有形固定資産	325,296	264,311
無形固定資産		
のれん	822,029	755,378
ソフトウェア	619,691	60,435
ソフトウェア仮勘定	1,444,880	3,385,974
その他	672	672
無形固定資産合計	2,887,274	4,202,460
投資その他の資産		
投資有価証券	3,234,012	3,100,922
その他	2,377,021	2,444,642
貸倒引当金	△11,901	—
投資その他の資産合計	5,599,131	5,545,565
固定資産合計	8,811,702	10,012,337
資産合計	18,707,512	20,458,299
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,916,692	1,168,716
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	541,788	1,156,116
賞与引当金	132,521	34,080
その他	2,527,912	2,386,483
流動負債合計	5,118,914	5,245,396
固定負債		
長期借入金	462,044	1,660,644
その他	320,000	240,000
固定負債合計	782,044	1,900,644
負債合計	5,900,958	7,146,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,957,479	5,363,642
資本剰余金	4,707,029	5,113,192
利益剰余金	3,322,329	3,063,430
自己株式	△397,362	△397,362
株主資本合計	12,589,476	13,142,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,027	394,706
為替換算調整勘定	△33,033	△253,671
その他の包括利益累計額合計	206,994	141,035
新株予約権	10,083	28,319
純資産合計	12,806,554	13,312,258
負債純資産合計	18,707,512	20,458,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)
売上高	18,708,595	12,511,446
売上原価	16,728,810	10,463,512
売上総利益	1,979,784	2,047,934
販売費及び一般管理費	2,708,913	2,617,977
営業損失(△)	△729,128	△570,042
営業外収益		
受取利息	25,997	10,721
受取配当金	32,974	44,794
持分法による投資利益	9,786	—
為替差益	—	628,468
その他	31,573	100,298
営業外収益合計	100,333	784,282
営業外費用		
支払利息	3,147	9,144
持分法による投資損失	—	3,499
為替差損	167,326	—
その他	50,801	6,088
営業外費用合計	221,275	18,731
経常利益又は経常損失(△)	△850,071	195,507
特別利益		
固定資産売却益	2,475	—
投資有価証券売却益	31,130	154,576
その他	681	7,394
特別利益合計	34,287	161,970
特別損失		
減損損失	1,540,574	410,263
その他	436	118,646
特別損失合計	1,541,010	528,910
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,356,794	△171,432
法人税等	△589,629	135,816
四半期純損失(△)	△1,767,164	△307,248
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,767,164	△307,248

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,767,164	△307,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102,867	155,066
為替換算調整勘定	△17,752	△220,638
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,198	△386
その他の包括利益合計	83,917	△65,959
四半期包括利益	△1,683,246	△373,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,683,246	△373,207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当社は、2021年2月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式434,700株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が294,234千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が294,234千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ406,163千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,363,642千円、資本剰余金が5,113,192千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、ユーザーからの課金収入について、従来、ゲーム内の有償通貨をユーザーが消費し、アイテムに交換したときに収益を認識しておりましたが、有償通貨をユーザーが消費して入手したアイテムの性質に応じ、その利用期間を見積り、当該見積り利用期間に応じて収益を認識する方法に変更しております。また、ライセンスを供与する取引の一部について、従来は契約に基づき、請求書を発行した時点で当該請求書の金額にて収益を認識しておりましたが、ライセンスを顧客に供与する際の約束の性質が、ライセンスが供与される時点で知的財産を使用する権利である場合は、一時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は65,126千円減少、営業損失は65,126千円増加、経常利益は54,355千円減少、税金等調整前四半期純損失は54,355千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は48,349千円増加しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年

3月31日) 第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	18,414,180	294,414	18,708,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	18,414,180	294,414	18,708,595
セグメント利益	1,819,713	160,071	1,979,784

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサーチ&コンサルティング事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	ゲーム事業		
売上高			
ユーザーからの課金収益	10,832,805	—	10,832,805
その他	1,362,346	316,294	1,678,641
顧客との契約から生じる収益	12,195,151	316,294	12,511,446
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	12,195,151	316,294	12,511,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	12,195,151	316,294	12,511,446
セグメント利益又は損失(△)	2,152,829	△104,895	2,047,934

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサーチ&コンサルティング事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

おりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「ゲーム事業」の売上高は65,126千円減少、セグメント利益は65,126千円減少しております。